

## 平成26年ゴールデンウィークにおける主な観光施設等の利用状況について

平成26年ゴールデンウィークに県内の主な観光地を訪れた観光客の状況について、次のとおりまとめました。

調査目的： ゴールデンウィーク期間中の観光客の傾向を調査し、今後の観光振興施策や観光事業関係者の事業展開の参考資料とする。

調査地点： 県内主要観光施設利用状況、市町村イベント等の動員数 67地点  
(参考調査) 高速道路、有料道路利用台数調査

集計期間： 平成26年4月26日(土)～5月6日(火)の11日間

観光客数： 延べ128万人 (前年比 約17万4千人減、12.0%減)  
(前々年比 約3万人減、2.3%減)

## 1 概 況

県内の主な観光施設・イベント(67地点)を訪れた観光客数は合計128万人で、前年(H25)より約17万4千人減少した(前年比88.0%)。

前々年(H24)と比較すると3万人減少した。(前々年比97.7%)

H25は期間中、天候に恵まれたことからH24より大幅に増加した。

今年のゴールデンウィークは、前半の飛び石連休と後半の4連休に分かれた分散型で、長期休暇が取りにくい曜日配列であったこと、消費税改正やガソリン価格の高騰等の影響もあったことから、県全体として減少した。

特に、祝日(4/29, 5/5)の天候不順や開花の遅れから、花をテーマにした公園や祭り等のイベントで減少した。また、消費税の改正やガソリン価格の高騰の影響から、公共温泉施設においても減少がみられた。

一方、天候の条件の影響を受けにくい博物館、直売所などの屋内施設や富士山の世界文化遺産登録から初めてのゴールデンウィークを迎えた富士・東部圏内の多くの観光施設で増加がみられた。

なお、上記調査地点以外の主な観光施設では、「村岡花子展」を開催中の文学館は昨年の4倍、富士ビジターセンターは、1.5倍と大幅に増加した。

4月24日にオープンした「県立リニア見学センター」でも期間中2万6千人を超える人が見学に訪れた。

## 【峡 中】

- ・ 峡中圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、前年比 95.7%と減少した。
- ・ 期間を通じて天候に恵まれない日もあったが、「山梨県立愛宕山子供王国」、「山梨県地場産業センター」や「風土記の丘・曽根丘陵公園」等の屋外施設・イベントでは前年と比較して 10%以上の増加であったのに対し、「昇仙峡ロープウェイ」、「やまなみの湯」や「山梨県立美術館」は前年比 90%未満となっており、屋内・屋外型施設でも増減が分かれる結果となった。
- ・ 増加した施設は、子供や地元住民を対象にした企画内容が好評であったことが要因に挙げられる。

## 【峡 東】

- ・ 峡東圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、前年比 89.8%と減少した。
- ・ 企画展が好評であった「山梨県立博物館」は前年の 2 倍以上と大幅に増加した。
- ・ 一方、昨年大幅に増加したスポーツ・レクリエーション施設（「山梨県森林公園金川の森」や「笛吹川フルーツ公園」）や行祭事・イベント（「フルーツ公園グリーンフェスタ」）は天候不順の影響で減少した。
- ・ 昨年好調であった「ハーブ庭園旅日記」、「大菩薩の湯」や「道の駅みとみ」も曜日記列や祝日の天候不順の影響で減少した。
- ・ 圏域全体としては、天候不順の影響から減少した施設が多い。

## 【峡 南】

- ・ 峡南圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、前年比 83.2%と減少した。
- ・ 曜日記列や祝日の天候不順の影響を受けて、昨年大幅に増加した「南アルプス早川山菜祭り」や「山梨県富士川クラフトパーク」、「つくたべかん」、「富士川町交流センター「塩の華」」は減少した。
- ・ 一方、「町営まほらの湯」や「道の駅とみざわ」は、引き続き堅調に増加した。
- ・ 圏域全体としては、平成 24 年・平成 25 年と続伸してきたが、曜日の配列や天候不順の影響から減少した施設が多い。  
一部の施設からは「4 月からの消費税改正の影響がある」という声も聞かれた。

## 【峡 北】

- ・ 峡北圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、前年比 83.2%と減少した。
- ・ 集客力の大きい「山梨県立まきば公園」、「清泉寮」や「道の駅「はくしゅう」」等の施設では、曜日記列や祝日の天候不順の影響で減少した。
- ・ 公共温泉施設である「スパティオ小淵沢延命の湯」や「甲斐大泉温泉 パノラマの湯」では、曜日記列や消費税改正に伴う料金改定やガソリン価格の高騰等の影響で減少した。
- ・ 一方、「道の駅きよさと（長澤鯉のぼり祭り）」、「八ヶ岳自然ふれあいセンター」や「サントリー白州蒸留所」等の施設では、好天に恵まれた連休後半に客足を伸ばし、増加した。

- ・ 圏域全体としては減少の理由に「消費税増税及びガソリン価格の高騰」を挙げる施設が他の圏域比べて多かった。

#### 【富士・東部】

- ・ 富士・東部圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、前年比87.3%と減少した。
- ・ 都市型観光施設の「笹一酒造(株)酒遊館」は富士山に向かうバスツアー企画の立ち寄り口となり、大幅に増加した。
- ・ 期間中に花の見頃を迎えた「富士桜ミツバツツジまつり」も大幅な増加となった。
- ・ また、富士山の世界文化遺産登録に伴い、「北口本宮富士浅間神社」や「なるさわ富士山博物館」で大幅な増加がみられ、「道の駅富士吉田」も好調であった。
- ・ 圏域全体としては、富士山の世界文化遺産登録に伴い、歴史・文化施設で増加があったものの、「山梨県立富士湧水の里水族館」や「丹波山温泉のめこい湯」や集客力の大きい花をテーマにした公園やイベント等が天候不順の影響を受けたため、前年より減少した。